

例会日:毎週木曜日 18時30分 例会場:関観光ホテル 住所:岐阜県関市池尻 91-2

事務局:岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、奉仕から広がる友情の輪、  
そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

第 2132 回

2024 年 2 月 29 日 (木)

本日のプログラム

卓 話 岐阜県議会議員 佐藤 武彦 様

テ ー マ 「令和 6 年度岐阜県予算について」

担 当 : 出席委員会

前例会の記録

第 2131 回 2024 年 2 月 22 日 (木)

卓 話

関商工会議所青年部 会 長 森 大地 様

専務理事 藤井 遼斗 様

テーマ 「年間活動報告」

\*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*会長あいさつ 森 敬 会長

皆様こんばんは。本日のお客様を紹介致します。関商工会議所青年部 会長 森 大地 様、専務理事 藤井 遼斗 様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。さて、気がつかれた方もおられるかも知れませんが、関商工会議所青年部 会長 森 大地 様は私と同じ森でございます。実は、関市の一番西にある西部地区の側島という所に生まれていて、私も同じ出身で森屋敷という組が同じです。森の姓を名乗る者ばかりが集まるこの屋敷は、冠婚葬祭やお寺、お宮などの行事を行います。他にも側島には屋敷がありますが、桜



井が一番多く、次が森、篠田、西田となります。それ以外の苗字の方は地元の方ではなく、外から入って来た方となります。桜井ですと加茂野町に關の桜うどんを製造している桜井食品さんがありますが、創業者は側島の出身、側島でうどんを作ったのが始まりだそうです。そして当クラブ会員の西田 健一さんはお爺さんの代で側島から出られたそうです。側島の話をしました。保戸島という呼び方をされる事がありますが保戸島は町名ではなく地区名です。昔は保戸島村であったそうで、私の父は保戸島村で育ち保戸島小学校に通ったと聞いております。保戸島村は昭和25年に小金田村に編入され、保戸島小学校は昭和38年に千疋小学校と小金田小学校、保戸島小学校が統合され金竜小学校となりました。私は金竜小学校に通いました。保戸島は長良川の中州にあり周りは全て川に囲まれています。上流部は武儀川が流れ込み、下流部は津保川も流れ込み川が多く昔から水害が多い地区です。私の事業所や長谷部 貴司君の事業所がある所が島の東にあたり保明という町名になります。ここは苗字が片桐ばかりです。それ以外の

苗字は外から入って来られた方となります。そして、私の事業所がある北側の町内は戸田となります。ここは岡田、西田、後田、藤島、それ以外の苗字は外から入って来た方となります。保明、戸田、側島の1文字ずつ取って保戸島となります。私が小学生の頃は小さな橋が1本しかなく、外から入って来ると島を抜け出せなくなりグルグル島を回っている方を見かけたりしました。また、当クラブに入って初めて分かった事ですが、私が小学校に入学する前くらいに生まれ育った実家の目の前の工場に小川 糧司さんが勤めておられ、50年くらい前にお会いしていたのではないかと思います。小さな橋が出来る前は、渡し船で川を横断したそうです。戸田に岡田 只治さんという明治から大正にかけて実業家・発明家として活躍された方が考案した岡田式渡船を使用したそうです。全盛期は全国60ヶ所あまりでこの岡田式渡船が使われていたそうです。川の両岸にやぐらを建てワイヤーを渡し、そこに滑車を付けロープで船を固定します。船の右側にロープを固定すると川の流れを利用し左に進行し、左側にロープを固定すると右に進行します。川の流れが速ければ速いほど運航スピードは速くなり増水時でも夜間でも安全に川を渡ることが出来たそうです。私が物心ついた頃には既に渡船は行われていませんでしたが、いつでも運航出来るように渡船場も船もありました。当クラブの元会員の二光家具の豊田さんはお爺さんの代にこの船を管理するために側島に来られたと聞いております。そして私が中学生の時に初めて岐阜側に大きな橋が架かりました。岐関大橋です。この橋の建設には当クラブの藤村 伸隆さんが関わったそうで、色んな関わりやご縁を感じます。この保戸島と岡田式渡船は私が小学生の時に社会科の授業で習いましたので、本日覚えて帰られると何かしらの話のタネになるかも知れません。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

#### \*卓 話

関商工会議所青年部

会 長 森 大地 様

専務理事 藤井 遼斗 様

本日はこのような場にお招きいた

だきましてありがとうございます。今日は関商工会議所青年部(関YEG)の今年度の活動についてお話させていただきます。関YEGは今年度で45年目を迎えます。



現在132名で活動をさせていただいております。YEGとはヤング、エントレプレナー、グループの頭文字をとったもので、若き経営者集団として研鑽と交流を目的として活動しています。今年度は「笑顔」をスローガンとして、毎月の例会をはじめ他単会や他団体との交流、県連、ブロック、日本など上部連合会のコンベンションへの参加など多くの活動をしてきました。YEGの事業年度は4月から3月になります。しかし、その前の準備段階として、昨年度11月の臨時総会で会長予定者、次年度理事・役員承認をもらい、12~3月は予定者として役員会、理事会、委員会を開催しています。そして4月定時総会で事業計画、予算の承認を取り、正式に令和5年度としてスタートしました。5月13日恵那で行われた春の会長会議に出席し、他単会の会長と交流してきました。5月15日の経営例会では講師として豊田YEGの直前会長をお招きし、単会内でのビジネス実績報告について講義してもらいました。その後、関YEGと豊田YEGのメンバーでサイコロトークを利用したビジネス活性化交流会を開催しました。サイコロの出た目に沿って自社業の紹介をして盛り上がりました。6月17日に友好部会である高知県の須崎YEGの40周年事業に参加してきました。須崎YEGとは40年を超える交流の歴史があり、昨年度友好提携を結んでいます。そして、6月25日には関に新たなB級グルメを創り出し商業を発展させることを目的として、B級グルメ例会を開催しました。お題は焼きそばとし、審査員として関YEGの飲食に関わるOBにも参加していただきました。味・見栄え・関らしさ等の審査基準のもと、7つの委員会ごとにアイデアを出し合い競いました。鰻のタレと糸唐辛子を使った焼きそばがグランプリに輝きました。関の飲食店で食べられるようになりますので、見かけた際は一度食べてみて下さい。7月15日に姉妹部会である高岡YEGの七夕祭りの準備のお手伝いに参加してきました。七夕祭りで使う竹を200本以上切って仕分けて運ぶ作業は、夏場ということもあり過酷な作業でしたが、高岡のメンバーとの良い交流になりました。7月22日に親睦例会「名乗りをアゲろ！～認知度爆アゲ CHANBARA～」をテーマに開催しました。前半はアピセ関の多目的ホールでチャンバラをやりました。チャンバラと言ってもただ叩き合うだけでなく、試合開始前に自己紹介の名乗りを上げ、今一度会員相互の認

知度拡大を図りました。チーム戦で相手の大将の玉を先に落とした方が勝ちという内容でした。後半は、ふるさと農園に移動してBBQで親睦を深めました。ゲームやチャンバラの表彰式も行い、笑顔溢れる一日となりました。7月28日には鈴鹿で開催された東海ブロック親睦交流会に参加し、大運動会で汗を流しました。8月3



日に新入会員交流例会を開催しました。テーマ「新たな仲間を知ろう、そして共に笑顔に！」、新入会員と在会員とが知り合えて、会員同士の距離を縮めることの出来る例会となりました。9月23日に地域振興例会を開催しました。テーマ「Seki で愛コンVII～この街の素晴らしさをおすそ分け～」とした街コンを開催しました。男性15名・女性15名を募集し、関観光ホテル内のカフェ slow green を会場に開催しました。参加者の皆さんには関市の自然豊かな景観と食事を楽しんでいただき、関市で生活したいと感じてもらえるように関の良さを感じられる設えにこだわりました。明るい時間帯には川の景色、夜には鶉飼の篝火の景色を楽しんでいただき、ゲーム等を通して仲を深めることができましたようです。青年部メンバーとしてはインスタグラム広告を使って参加者を募集しその効果を検証した発表を聞くことでインスタグラムの有効な利用方法など勉強することができました。9月26日には新入会員セミナー①を行いました。商工会議所の職員さん11名に参加していただき自己紹介の中でどんな業務をしているか等のお話をしていただきました。一緒にお酒を酌み交わし懇親を深めることができました。9月30日に東海ブロック大会豊橋大会が開催され、36名で参加しました。豊橋の駅前全体を使ったイベント等いずれ来る関大会への参考にもなったのではないかと思います。10月7、8日に関メタルアート2023、刃物まつりと同日に開催している関 YEG の継続事業

で金属加工業の発展、次代の商工業の発展を目的に今年度で9回目の開催になります。商工会議所2階での作品展示では50作品以上の作品を展示し、3000名を超える来場者にご覧いただきました。表彰式では受賞者の方の喜びの涙で会場が感動に包まれ、とても良い例会となりました。そして、10月18日には新入会員セミナー②を開催しました。この会は新入会員と卒業生の懇親会です。1年間しか一緒に活動できないのですが、しっかり交流することができました。10月21日は岐阜県連親睦交流会が恵那市で行われ9名で参加しました。単会対抗のドッチビー大会が開催され大変盛り上がりしました。11月17日には第41回全国会長研修会山海の楽園こうち会議が高知県高知市で開催され、日本YEGも令和6年度の体制が承認されました。12月18日に可児YEGとの合同例会を開催しました。岐阜県には県連に所属している単会が6単会あり、毎年ペアを組んで合同例会が行われます。今年度は可児YEGとペアでした。せきてらすを会場として可児YEGのメンバーに来ていただきました。関YEG、可児YEG混合でグループを作り、メンバー企業のワークショップや交流の深まるゲームなどを体験しました。懇親会も開催され、交流を深めることのできた合同例会となりました。1月19日に賀詞交歓会を開催し、令和6年度の役員、理事の紹介も行われました。また、1月27日には第21回岐阜県連大会高山大会が開催されました。記念事業では商品開発やマーケティングについて学び、その後大懇親会でまた県連の交流を深めました。2月17日に関商工会議所青年部45周年記念事業を行いました。永垂不朽～関YEGの活動を後世まで語り継ごうをテーマに関YEGのメンバーだけではなくOBの先輩から姉妹友好部会の高岡YEG、須崎YEGさらに日本の各地から約200名の皆さんにお集まりいただき、盛大に開催することができました。記念講演は金松月先生を講師にお招きし「リーダーシップの本質、成功へ導くビジョンとリーダーの役割」について講演していただきました。記念式典、記念祝賀会には多数のご来賓にご出席いただき、武藤 容治衆議院議員、関市 森川 哲也副市長、吉川日本YEG筆頭副会長にお祝いのご挨拶をいただきました。アトラクションでは、関商工吹奏楽に4曲披露していただきました。関YEGは次年度から50周年に向けて新たな歩み

を始めます。残りの活動としましては3月1日に卒業例会、3月15、16日には全国大会「加賀能登の國石川小松大会」に参加する予定です。以上、今年度の活動についてお話をさせていただきました。今年度は交流につながる事業を多く開催することができました。全会員にスローガン「笑顔」を意識してもらうことができ、全会員が一年を通して笑顔で活動することができたのではないかと嬉しく思っています。次年度は堀部 喜学会長のもと「プラスワン～失敗したっていいじゃない～」をスローガンに掲げ活動してまいります。今後とも関商工会議所青年部をよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。



**\*出席委員会**

会員数 28 名、本日の出席13名です。

**\*ニコボックス委員会**

・会長、副会長、幹事

本日は関商工会議所青年部の会長・専務理事様、ようこそ例会にお越し頂きました。卓話、楽しみにしています。13名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2133回 2024年3月7日(木)

卓 話 NPO法人 子援隊 佐藤 隆一 様

「活動報告」